

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	中医学概論1	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	東洋医学臨床論 東洋療法学校協会編						
担当教員情報							
担当教員	奥山 夕記子			実務経験の有無・職種	有・鍼灸師		
学習目的							
この授業を受講する学生は、東洋医学の基礎的な概論を理解したうえで、病理変化に伴う体の状態を把握できる。発病因子によって起こる経絡系の病理変化には、経絡病証を始め、様々な病態把握系統があるが、ここでは気血津液病証と経絡病証、六経病証をとりあげる。それぞれの特徴を理解し、臨床の際に最も有効であると考えられるものを選択しな。臨床の現場で患者の病態把握を行う知識を身につける。後半からは臨床に則した各論を学ぶ。							
到達目標							
臓腑の生理と病理を正しく把握する。東洋医学的な診断法が理解できる。患者の身体の状態を正しく把握し、東洋医学的な弁証を行うことができる。臨床では東洋医学用語を患者にわかりやすい言葉に置き換えて説明できる。並行する診察学応用1と中医学概論1の授業を総合することで臨床の中で東洋医学を応用できる。							
教育方法等							
授業概要	この授業では東洋医学概論3と並行して行う為、東洋医学概論3の前回の復習と理解度の確認を行う。個人ワーク以外にグループワークを取り入れ、患者役と施術者役のロールプレイにより理解を深める。後半12回以降は各論のため、東洋医学だけでなく現代医学の病態把握方法も確認させるワークを取り入れる。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	期末試験				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	東洋医学概論 東洋医学の診断法1			東洋医学における診断法を理解する			
2回	東洋医学概論 東洋医学の診断法2			現代医学と東洋医学の診断の相違を理解する			
3回	東洋医学概論 八綱弁証			病邪と正気の状態を把握できる（虚証と実証）			
4回	東洋医学概論 八綱弁証			病気の進度（表証と裏証）を把握できる			
5回	東洋医学概論 気血津液病証			気の病理（気虚と気滞）について理解する			
6回	東洋医学概論 気血津液病証			血の病理（血虚と血於）について理解する			
7回	東洋医学概論 気血津液病証			津液の病理（津虚と痰湿）について理解する			
8回	東洋医学概論 六経病証			湯液理論に基づいた弁証を理解する			
9回	東洋医学概論 六経病証			湯液理論に基づいた弁証を理解する			
10回	東洋医学概論 経絡病証			経絡の流注に基づいた弁証を理解する			
11回	東洋医学概論 経絡病証			経絡の流注に基づいた弁証を理解する			
12回	中医学各論			中医学的な診断法について理解する			
13回	中医学各論 頭痛			頭痛の病態把握ができる			
14回	中医学各論 頭痛			頭痛の東洋医学的な病態把握ができる			
15回	中医学各論 顔面痛			顔面痛の病態把握ができる			